

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	PHCホールディングス株式会社	コード	6523
提出日	2026/6/3	異動（予定）日	2026/6/24
独立役員届出書の提出理由	2026年6月24日に開催の定時株主総会において、社外役員の選任議案が付議されるため。		
□ 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）			

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役/ 社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）												異動内容	本人の 同意	
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l			該当 なし
1	平野 博文	社外取締役														○		
2	谷田川 英治	社外取締役														○		
3	イヴァン・トルノス	社外取締役	○													○		有
4	デイビッド・スナイダー	社外取締役	○													○		有
5	行本 閑人	社外取締役	○													○	新任	有
6	森山 裕紀子	社外監査役	○													○		有
7	野口 昌邦	社外監査役	○													○	新任	有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	平野 博文氏は投資ファンドの代表取締役社長としてこれまで数多くの企業の経営に携わっており、企業経営に関する幅広い知見を有することから、当社の経営に対して適切な助言・監督を行うことが期待できるものと判断し、社外取締役に選任しております。	下記「4. 補足説明」を参照
2	谷田川 英治氏は投資ファンドのパートナーとしてこれまで数多くの企業にて社外取締役として経営に携わっており、企業経営に関する幅広い知見を有することから、当社の経営に対して適切な助言・監督を行うことが期待できるものと判断し、社外取締役に選任しております。	下記「4. 補足説明」を参照
3		イヴァン・トルノス氏はグローバルに事業を展開する複数の医療機器企業において、グループ経営責任者や地域統括責任者としての経験を有し、医療機器業界、特に医療とテクノロジーを組み合わせたMed Tech事業に関する豊富な経験や知識を有しております。それらの知識と経験を活かし、当社の経営に対して適切な助言・監督を行うことが期待できるものと判断し、独立社外取締役に選任しております。また同氏は、上記aからlのいずれにも該当しておらず、当社と一般株主との間で利益相反が生じるおそれはないと判断し、独立役員に指定しております。
4		デイビッド・スナイダー氏は弁護士として日本を含むグローバルでのM&Aや資本市場取引にも精通されており、多年にわたり日本企業および多国籍企業に対して助言を行ってきました。それらの知識と経験を活かし、当社の経営に対して適切な助言・監督を行うことが期待できるものと判断し、独立社外取締役に選任しております。また同氏は、上記aからlのいずれにも該当しておらず、当社と一般株主との間で利益相反が生じるおそれはないと判断し、独立役員に指定しております。
5		行本閑人氏はグローバル事業、新規事業、DX・IT領域、経営管理や投資判断、組織改革に関する知見を有しております。さらに、ガバナンスや後継者育成にも詳しく、それらの知識と経験を活かし、当社の経営に対して適切な助言・監督を行うことが期待できるものと判断し、独立社外取締役に選任しております。また同氏は、上記aからlのいずれにも該当しておらず、当社と一般株主との間で利益相反が生じるおそれはないと判断し、独立役員に指定しております。

6		森山 裕紀子氏は、弁護士としての専門知識と豊富な実績に加え、他社における社外取締役（指名委員会等設置会社における監査委員）としての経験も有しています。当社においても監査役としてその専門性と経験を活かしていただけるものと判断し、独立社外監査役に選任しております。また同氏は、上記aからlのいずれにも該当しておらず、当社と一般株主との間で利益相反が生じるおそれはないと判断し、独立役員に指定しております。
7		野口昌邦氏は、公認会計士としての専門性に加え、他社における社外取締役・監査役経験を有し、財務・会計・ガバナンスに精通しています。M&A関与や機関設計変更の実績、複雑な利害環境下での独立した監査経験に基づき、建設的な議論形成に貢献できる人材として独立社外監査役に選任しております。また同氏は、上記aからlのいずれにも該当しておらず、当社と一般株主との間で利益相反が生じるおそれはないと判断し、独立役員に指定しております。

4. 補足説明

平野博文氏及び谷田川英治氏はa~lの何れにも該当しないことから、役員の属性は「該当なし」としております。しかしながら、当社の筆頭株主であるKKR PHC Investment L.P.はKohlberg Kravis Roberts & Co. L.P.のプライベート・エクイティ・ファンドであり、両氏はKohlberg Kravis Roberts & Co. L.P.の日本法人である株式会社KKR日本の役職員であることから、独立役員の要件である「一般株主と利益相反が生ずるおそれがない者」とは言い切れないため、独立役員には指定しておりません。

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa~lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a~lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。